

## 台湾 中国のマンゴー輸入禁止に対し元々日韓にシフト済み

The News Lens International 2023年8月25日

中国が台湾からのマンゴーの輸入を突然禁止したことを受けて、<sup>チンジウジョン</sup>陳吉仲農業大臣は本日マスコミの質問に応え、中国向けの輸出量は台湾のマンゴー総生産量の0.05%しか占めていないため、この禁止の台湾経済への影響は限定的であると主張した。

中国の台湾事務弁公室の<sup>ジョーフエンリエン</sup>朱鳳蓮スポークスマンは月曜日(8月21日)、中国の税関が台湾から出荷されたマンゴーからカイガラムシの一種の害虫(citrus mealybugs)を検出し、これは中国の農業及び生態学的安全保障に「深刻な脅威」をもたらしたと述べた。中国は台湾からのマンゴーの輸入を即座に停止した。

この禁止は、中国の台湾に対する「果実外交」の第2弾だと広く見なされている。2021年には、中国は病害虫の検出を理由にパイナップルの輸入を突然停止し、当時中国が台湾のパイナップル輸出市場の90%近くを占めていたため、台湾の農業部門は15億ドルの深刻な損害を被った。

今回のマンゴー輸入禁止について、陳吉仲農相は、台湾の年間のマンゴー生産量は17万トンで、中国への輸出量は年間約1千トンなので、台湾の年間総生産量の約0.05%に当たると述べた。

陳大臣はまた、台湾のマンゴーは主に国内消費用であり、「内需」向けの果実であることを強調し、このため農業経済が中国の輸入禁止の影響を受けることはないと言った。

農業省の統計によると、マンゴーの輸出市場はすでに日本と韓国にシフトしており、台湾産マンゴーの輸出価格は中国で販売されるものよりも大幅に高くなっている。中国向けの輸出価格はトン当たりわずか1,823ドルであるのに対し、日本と韓国への輸出価格はトン当たりそれぞれ7,930ドルと6,114ドルである。これらの価格は、中国への輸出価格の4倍及び3倍である。

陳氏は、蔡英文総統が2016年に就任して以来、単一の市場に依存することに関連するリスクを軽減するため、農産物市場の多様化を推進してきたと述べた。今年8月20日現在、台湾の対中輸出はさらに減少し、10%を下回っている。現在、米国と日本が上位2つの市場であり、香港が第3位である。

## 米国加州 収穫前のブドウの20%に熱帯暴風雨ヒラリーの被害

FreshFruitPortal 2023年8月28日

カリフォルニア州の生食用ブドウの収穫は、8月20日に同州に激しい悪天候をもたらした熱帯暴風雨ヒラリーによって大きく損なわれた。嵐はバハカリフォルニア州(メキシコ)を縦断し、カリフォルニア州に向かう途中でソノラ州(メキシコ)にも雨を降らせた。

カリフォルニア州デラノ市のパンドルブラザーズ社のジョン・パンドル氏は8月25日、カリフォルニア州の収穫前のブドウの約20%が被害を受けたと本サイト(FreshFruitPortal.com)に語った。カリフォルニア州の生食用ブドウ全体の約25~30%は収穫が完了している。したがって、残りの70%のうち、20%がヒラリーの被害を受けた。

被覆された収穫間近のブドウは、概して無傷であった。同氏は、晩生の品種及び果皮が厚い品種(赤と黒)も「かなりうまく乗り切った」と報告している。最も被害を受けたのは有機栽培と白(緑)ぶどう品種であった。

同氏は、重要なことはヒラリーが「出荷シーズン半ばの収穫物を奪う」ということだと付言する。すぐに20%の減収が現れ11月中旬まで続く。その後の出荷量は、11月下旬に収穫が終わるまで正常に戻る。同氏は、カリフォルニア州のブドウについて「作物保険の担当者らは、すでに請求額を予想している」と指摘する。

他の気象情報によると、ヒラリーの記録的な雨はカリフォルニア州南部の一部で大きな被害を引き起こし、リバーサイド郡とサンバーナーディーノ郡では壊滅的な鉄砲水と土砂流が発生した。ロサンゼルス市の中心部では、記録上8月で最も多い日降水量となる2.48インチ(63ミリ)を記録した。